問 新たな観光財源で想定する財源規模は

約 ī 億円から2億円規模と考えてい る





篠﨑久美子 議員

強化などを想定。現時点では約 データの取得・分析、情報発信の 1億円から2億円程度と考える。

問

宿泊税のみの検討か。

など、観光財源の在り方 入湯税の見直しや分担金

問

ジュールは。

全体を検討。

検討会】

【新たな観光財源を考える

問 検討会への観光関連団体 方法は。 住民の多様な意見の反映

間は。

問

検討会の立ち上げ時期と

委員構成、答申までの期

ノト等で反映する。 のヒアリング、パブリックコメ からの委員参加、 各事業

想を策定。

問

第7期の介護保険料は。

を開催予定。観光、公共政

4月または5月に第1回

問 これらの重要企画は、専 門的な部署をつくり対応

問

することが必要では。

年で、透明性の確保も図る。

者5名を予定。期間はおよそ半 識者3名、村内観光関係団体代表 策、地方財政専門の大学教授等有

産業に関する事項を扱う予定。 合的計画調整、移住定住、新たな 確保、公共交通、公共施設等の総 正をする。政策係で新たな財源 新年度は総務課企画調整 係と政策企画係の組織改

で採用は31年度。

問

想段階から参画してもらう予定

30年7月に地域おこし協 がないが館長公募は。 新年度予算に人件費計上

力隊員の募集を検討。

構

使途は景観整備、観光案

内施設整備、地産地消促

問

必要と考える財源額と使

問

時期は

地域おこし協力隊を 想定、31 年度採用

館長公募の

【新図書館の建設検討】

年度中に検討開始。

私有地の取得も視野に30 村有地を最優先候補とし、

新年度の具体的ス

【介護保険改正など】

7期介護保険料は

平成30年度からの



図り、

基金繰入で負担軽減を 5,700 円へ

門的見地から有識者会議を新た

答申は30年度中。より専 現在の検討委員会からの

に設置。施設整備等の基本構想

策定の委託料を予算化して、まち

づくりの方向と新図書館建設構

円になる。 の月額5500円から5700 基金繰入で300円ほど 負担軽減したが、第6期

施設の複合化は。

問

を参考に検討。 意見や有識者会議の意見 ワークショップでの住民

設の魅力向上、統一看板、クレ

進の商品開発、温泉施設・宿泊施

違法民泊の監視・摘発、観光統計 ジットカード等の決済環境整備、

ムとは。

援が必要なケースに適切に対応。 重度で家族対応に苦慮し ている場合など専門的支

介護や福祉の身近な相談窓口

場所は村づくりに非常に

重要だが、検討は。

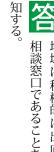
実施状況は。 日常生活支援総合事業の

内の取り組み事例集を作成、配布 金を新たに創設する。大北地域 課題、実施団体への補助 助け合いの気風づくりが



住民に身近であってほし 地域包括支援センターは

相談窓口であることを周 地域に積極的に出向





役場 1 階にある地域包括支援センター